
0023. 許可後訂正可能者登録

業務コード	内 容
UKT	許可後訂正可能者登録
UKT12	許可後訂正可能者登録（強制入力）

1. 業務概要

(1) 許可後訂正可能者登録の場合

輸出・積戻し許可内容の訂正（輸出許可内容変更申請業務（船名・便名・数量等の変更））を行う場合、システムでは申告者が行う他、別の通関業者（利用者コード（5桁）の異なる通関業者）に依頼して行うことも可能となっている。この場合、当該業務に係る委託関係を当初申告者の利用者コード（5桁）毎に登録する。

(2) 許可後訂正可能者登録（強制入力）の場合

許可後訂正可能者登録を行い、強制入力待ち^{*1}となった場合は、本業務で強制的に許可後訂正可能者を登録する。

(*1) 強制入力待ちとは、入力者と異なる法人に属する許可後訂正可能者が入力された（入力者の利用者コード（5桁）下3桁と入力された許可後訂正可能者の利用者コード（5桁）下3桁が一致しない）場合に、注意喚起を行っている状態である。この場合、「処理種別」欄に「F」を入力しない限り、許可後訂正可能者の登録は行えない。

2. 入力者

通関業

3. 制限事項

1 利用者に対して、登録可能な許可後訂正可能者は最大40件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 利用者DBチェック

①入力された利用者コード（5桁）が利用者DBに存在すること。

②入力された利用者コード（5桁）が入力者の利用者コード（5桁）であること。

③入力された許可後訂正可能者の利用者コード（5桁）が利用者DBに存在すること。

(4) 利用者共有関係DBチェック

①入力された利用者コード（5桁）と許可後訂正可能者の利用者コード（5桁）が利用者共有関係DBに存在しないこと。

②入力された利用者コード（5桁）の利用者共有関係DBが40件を超えていないこと。

(5) 強制入力チェック

許可後訂正可能者登録（強制入力）で「処理種別」欄に「F」の入力がない場合、強制入力待ちとする。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照）

(2) 利用者共有関係DB処理

(A) 登録の場合

入力された利用者コード（5桁）と許可後訂正可能者の利用者コード（5桁）を登録する。

(B) 削除の場合

入力された利用者コード（5桁）と許可後訂正可能者の利用者コード（5桁）を削除する。

(3) 許可後訂正可能者情報編集処理

利用者共有関係DBより編集処理を行う。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
許可後訂正可能者情報	UKT業務またはUKT12業務で強制入力待ちとならなかった場合	入力者
許可後訂正可能者強制入力情報	UKT業務またはUKT12業務で強制入力待ちとなった場合	入力者

7. 特記事項

①許可後訂正可能者が実施可能なオンライン業務は以下の通り。

業務コード	業務名
EAA	輸出許可内容変更申請事項登録
EAB	輸出許可内容変更申請事項呼出し
UAA	別送品輸出許可内容変更申請事項登録
UAB	別送品輸出許可内容変更申請事項呼出し
AHS	輸出貨物取扱登録（仕分け）呼出し
AHS01	輸出貨物取扱登録（仕分け）
AHT	輸出貨物取扱登録（仕合せ）呼出し
AHT01	輸出貨物取扱登録（仕合せ）
MED	輸出マニフェスト通関申告呼出し
MAF	輸出マニフェスト通関申告許可内容変更申請
EAM01	輸出許可内容変更申請（積込港一括変更）
I EU	別送品輸出申告照会
I EX	輸出申告等照会
ACL11	船積確認事項登録呼出し

- ②CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。(規制時間帯は別途定めることとする)